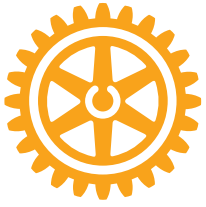


2023-2024年度

ガバナー月信 Vol.2



Rotary

Rotary International District 2570
GOVERNOR's Monthly Letter

8月号



ロータリー月間テーマ（8月）
会員増強・新クラブ結成推進

南アルプス：赤石岳（3,121m）



世界に希望を生み出そう

— 地区スローガン —

“希望を語ろう”
— We are Rotary, together —



会員増強DEI推進チーム合同セミナー



2023-2024年度国際ロータリー
第2570地区ガバナー

高丹 秀篤 (深谷RC)

本日は、2023-2024年度の最初の、しかも最も重要なセミナーにご参加いただき有難うございます。

今年度のみならず、ロータリーにとっていかに仲間を増やし、お互いに切磋琢磨して、会員相互の成長を期する場であることから、自ずと会員増強はクラブリーダーの一丁目一番地であることには変わりあり

りません。

ゴードン・マッキナリーRI会長は、「会員数は非常に重要ですが、ロータリー活動を充実させた結果として会員が拡大し、地域社会により大きなインパクトをもたらすことが正しい方向です。」と1月の国際協議会で何度も強調していました。

DEIのコンセプトはその為の方法であり、会員がそれぞれのクラブ活動を居心地よい場にしていく努力目標です。

また、ゴードン会長はDEIについてこうも述べています。「DEIの最も重要な側面はロータリーをどこからであれ、最高の人材最高のアイデア 最高のパートナーシップを受け入れる、オープンでインクルーシブな組織にすることである。」と、つまりポール ハリスの言う「寛容の精神がロータリーの基本であり、ロータリーの強さである。」とほぼ同義語だと思います。

本日のセミナーを通じて、DEI精神の重要性や新会員がロータリーを学べる環境作りをクラブリーダーの皆様にも強くお願いしたいところであり、その結果が会員増強に繋がり、またクラブ活性化を実現していく道のりであると考えます。

「甦れ！ 2570地区」の旗のもと、“We are Rotary together” 仲間とともに、

【希望を語り、ロータリーを語り合おう】 !!



会員増強委員長

山本 庄一 (川越小江戸RC)



6月17日(土)東松山市民文化センターにて会員増強セミナー（D E I 推進チーム合同）が開催されました。

本セミナーは各クラブの増強に対する意識改革を促す為に次年度に入る前に行うことが恒例になっておりますが、コロナ感染症の影響でここ数年密を避けての開催でした。

その状況から一転し予想以上の参加人数、それだけ増強に対する意識が高く、【増強とは理屈ではなく熱意だ！】まさにこの言葉通りに甦れ2570地区!!!

茂木正副ガバナーの開会点鐘、挨拶 水村雅啓担当諮問委員の挨拶の後、所用でやむを得ず欠席された高丹秀篤ガバナーのメッセージを披露した後、山本庄一委員長から地区の現状、各クラブ増強アンケートの集計報告、その後全参加クラブから具体的な計画の発表がありました。①目標人数 ②緻密な戦略計画 ③リストアップ ④実際の問題点、課題等積極的な意見が飛び交いました。

各クラブの増強における具体的な手法、課題、問題点、新人研修、クラブの魅力のPR等、本音のお話をお聞きして大変参考になりました。会員増強に打ち出の小槌はありません。諦めず、粘り強く会長、増強委員長を中心にクラブが一丸となって行動していく事につきます。

年度末に良い結果が出るよう地区・クラブ共々切磋琢磨していきたいと思います。





DEI推進チーム Tリーダー

栗原 雄一 (川越RC)

6月17日 会員増強委員会との合同セミナーを開催させて頂きました。その後半の部分でDEIについて説明させて頂きました。

参加された皆様に会員増強とDEIの関係性を感じて、会員増強をするためにはDEIの考え方も重要であると認識して活動に役立てて頂ければ幸いです。あくまでもクラブの主体ではありますが、今まで以上にクラブ内での活性化を望み変革するのであればDEIの考え方が参考、検討すべき事項であります。



委員長ご挨拶

地区研修担当委員会



坂口 孝
(川越RC)

今年度、地区研修担当委員長を拝命しました坂口でございます。

今年度は、研修リーダーである相原茂吉パストガバナーの指導を受け、刷新された研修をいち早く導入して参ります。

また、今回発行された2022年手続要覧の基本理念の中に加わった「DEIへのロータリーのコミットメント」を地区内クラブに幅広く認知して頂けるよう、担当委員会と強く連携して参ります。

最後に、強いクラブ造りは、会員を増やす事と研修が両輪となることです。ぜひ、研修に力を入れて頂くようお願い申し上げます。

危機管理委員会



高柳 育行
(本庄RC)

国際ロータリーは青少年に対するプログラムで、長年にわたり多大な成果を上げてきました。一方青少年が参加する活動でハラスメント等の報告もありました。

更に日本各地で起きている自然災害によって青少年が被災されることも考えられます。社会環境や自然環境が変化し、青少年が被る問題も多様化していて、常に高い道徳性と社会的責任が求められます。安全な環境づくりを心掛けるとともに、万一問題が起こってしまった場合でも、適切な対応ができるような体制を構築する必要があります。国際ロータリー第2570地区の「危機管理総則」と「危機管理委員会規定」を見直すとともに、RIJYEMからの情報を得ながら委員会の活動をしてまいりたいと思います。

DEI推進チーム



Tリーダー
栗原 雄一
(川越RC)

この度 DEI推進チームのチームリーダーを務めさせて頂きます川越ロータリークラブの栗原雄一と申します一年間宜しくお願いします。

DEI推進チームは、各クラブの活動に対して少しでもDEIの考え方を活かして頂くことを目的としております。

RIの声明にありますロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルーシブ(包摂的)な文化を培うことが不可欠であると理解しています。この事を念頭に行動してまいります。

国際大会推進委員会



水村 雅啓
(入間RC)

2024年5月25日～29日にシンガポールで国際大会が行われる予定です。異国での交流は、地区内での交流では得られない友情が生まれます。

2023-24年度マッキナリー RI会長はじめ世界のロータリアンが集うこの大会に当地区におきましても多くのメンバーで参加したいと考えております。

大会の内容や地区としての計画など登録のご案内は時期が来ましたらご案内をさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

会員増強委員会



山本 庄一
(川越小江戸RC)

2023-2024年度、会員増強委員長を仰せつかった、山本庄一です。会員増強に打ち出の小槌はありません。各クラブの会長、幹事、会員増強委員長と共に、微力ですが一丸となり目標数値及び地区とクラブの活性化の為に働かせていただきます。何卒宜しくお願い致します。

公共イメージ委員会



菊池 俊介
(川越西RC)

高丹ガバナー スローガン
「希望を語ろう」
we are rotary together
を实践するため、3つの
togetherで2570地区内のク

ラブで行っている活動を発信して参ります。

- ① 地区委員会とtogether
(委員会の事業発信と事業の共催)
- ② 各クラブとtogether
(クラブの公共イメージ委員会、ローターアクトクラブとコミット)
- ③ 地域の団体とtogether
(地元団体とのパートナーシップを発信)

具体的な発信方法としては、公式FBページやSNSでの発信、LINE公式アカウント等を利用したコミュニケーションツールの活用を地区幹事と連携して行っていきます。

クラブの活動をより多くの方々に理解していただき、ロータリークラブとは世界で、地域社会で貢献できる思いやりの心をもった「世界を変える行動人」であるということ発信して参ります。

職業奉仕委員会



小高 章
(川越RC)

職業奉仕はロータリーの原点であるといわれております。職業上の高い倫理基準を守り、専門知識や技能を社会の問題やニーズに役立てることをクラブとクラブ会員に求めています。また、ロータリー

の目的は、「意義ある事業の基盤として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」と定義されており、自分たちの職業を通じて、受益者に奉仕するのを基本理念とするところにロータリーの素晴らしさがあります。この理念の実践こそロータリーの務めであり、世界中の地域社会で奉仕を行う土台となるものです。職業奉仕委員会は、下記テーマを掲げ、地区内の各クラブとクラブ会員に推進するとともに実践する為の支援を行って参ります。

【テーマ】

1. 各クラブでの研修、委員会での勉強資料、卓話に活用できるツールの作成。入会3年未満の会員等の研修を実施して活用いただきたい。
2. 「我等の生業」第4集の発刊
3. 2024年1月の職業奉仕月間において、セミナーを開催。

委員会一丸となって活動して参りますので各クラブのご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

社会奉仕委員会



戸高 健司
(新座こぶしRC)

社会奉仕委員会は、地区内ロータリークラブの社会奉仕活動が活性化することを活動目標にした委員会です。その実現のために、地域社会の「ニーズ」に適應した社会奉仕活動を地区内クラブが行っていくために必要な情報・事例を提供してまいります。

また、RIテーマと地区年度方針の共通ワードである「希望」は、人と人との「つながり」から生まれてくるものと信じています。地域社会における人と人とのつながりが希薄になってきている昨今、是非とも、人と人をつなぐ奉仕活動を行っていただきたいと思えます。私たち委員会は、その支援を行ってまいります。一年間よろしくお願いいたします。

国際奉仕統轄委員会



田中 哲夫
(熊谷RC)

高丹年度の地区スローガンは「希望を語ろう」ですが、国際奉仕委員会は、このスローガンに基づき“Be active & support one another with hope 希望を持って行動し、お互いに支え合おう”を活動指針としました。まずは関係者向けにアンケート

をお願いし、今後の海外支援・交流活動を具体化させていきます。皆さまのアイデア・ご意見をお待ちしています。

青少年委員会



中村 幹也
(坂戸RC)

私ども青少年奉仕部門は青少年・学生諸君に世界との見聞と理解を深めるとともにリーダーシップの育成をロータリーのプログラムに基づいて啓発・支援していくのを目的としております。

ロータリーの一員として若い諸君との活動は楽しみであり意義を感じています。ぜひ皆さんをお待ちしています。コロナ禍において世界との交流や学生諸君たちの活動もすべて止まり2023年度よりようやく活動再開と相成りましたが世界はまだ動いておりません。今年度に続き次年度も台湾との交流のみとなりました。多くの若い諸君を送り受入るように地区の皆さんのご協力とご理解をお願いします。また7つのインター、2つのローターアクトクラブも学生諸君の自主的かつ活発な活動がライラ運動に結び付いています。各クラブの皆さんもアクトクラブの設立へご理解がおりなら委員会もできる限りの協力を惜しみません。

ロータリー財団委員会



茂木 聡
(本庄RC)

ロータリー財団は、ロータリー会員をはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する支援者の方々からの自発的な寄付のみによって

支えられています。ご寄付はロータリー財団の補助金となり、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらす活動に役立てられています。

ポリオプラス、資金推進、補助金、財団資金管理の4つの委員会を設け、ロータリー財団を寄付で支え、財団の補助金を利用し行動するロータリアン皆さまをサポートすることを通じて、ロータリー財団は私たち一人ひとりのものであることを実感いただけるよう努めてまいります。

ロータリー米山記念奨学委員会



渡邊 藤男
(熊谷南RC)

ロータリー米山記念奨学委員会は日本のロータリーの父、米山梅吉翁の名前が入っている委員会です。

昨年度は東京ロータリーが「米山基金」の構想を発表してから70周年になりました。

高丹ガバナー年度の2570地区奨学生は、継続2名、新規17名、合計19名です。

米山記念奨学会の理念と目的を会員の皆様にご理解いただき、事業への参加協力及び寄付金の向上に努めて参りたいと思います。

2570地区の寄付金目標は、普通寄付+1万円（特別寄付）をお願いしております。

そして、高丹ガバナーのご指示により他の委員会と協力をし委員会の活性化を図りたいと考えております。今年度も奨学生共々よろしく願いいたします。

甦れ2570プロジェクト



Pリーダー
金井 福則
(本庄RC)

「甦れ」とは先輩のロータリアンの方々が築かれた土台に基づいて、多くの事を学び、探求し、そこから新しい2570地区を創ることです。「温故知新」(論語：今まで学んだ事から新しい道理・知識を見出す)の心でプロジェクトを遂行する事で、新しい2570地区へと甦る事ができます。

また「茹でガエルの法則」カエルはいきなり熱湯に入れると驚いて逃げ出しますが、常温の水に入れ水温を上げていくと逃げ出すタイミングを失い最後には死んでしまいます。時代と共に環境や状況は刻々と変化しますが、ゆっくり進む環境の変化や状況に気付かず、環境に慣れ過ぎてしまうと鈍感になってしまいます。

私たちが「茹でガエル」にならないように「甦れ2570プロジェクト」委員会 は、新しいプロジェクトを企画し、ロータリーの魅力を発信していきたいと思っております。

年度初め地区役員合同会議

ガバナー月信委員長

下境 将寛 (深谷RC)

7月8日、小雨の降る中、地区役員をはじめ、多くの地区委員会メンバーが参加し『2023-2024年度国際ロータリー第2570地区 年度初め地区役員合同会議』が開催されました。高丹ガバナーより冒頭の挨拶にて「今年度の最大の目標はクラブの活性化」とのお言葉をいただき、その後、相原地区ラーニングファシリテーターより「会員に学びの場を提供し、自身を磨いていただくのがロータリーの醍醐味」とのお言葉を頂戴いたしました。会場内の熱気が一段階上がったような心地よい緊張感の中、この後の会議へと進行していきました。

記念品贈呈では、直前幹事である清水洋子様へ高丹ガバナーより一年間の労をねぎらうお言葉とともに記念品が贈呈され、その後清水直前幹事より一年間ご協力いただいたことへの感謝の言葉を含めた充実感と達成感を感じるご挨拶をいただきました。

続く委嘱交付では、今年度はガバナー記念品の贈呈という形で行われ、各委員長へ地区バッチとテーマバッチが手渡されました。



続いて、ガバナーエレクト紹介で五十幡和彦氏が紹介され、ご挨拶をいただきました。五十幡ガバナーエレクトは、そのご挨拶の中で、大野知事よりロータリーのDEIとSDGsの取り組みについてのお褒めの言葉をいただいたことや、ロータリーとして継続性が重要であり、今後もDEI推進、ポリオ根絶、ローターアクトクラブの支援について進めていきたいとおっしゃっておいりました。

今回の会議のメインであるガバナープロジェクト紹介では、

- ① DEI推進チームの栗原リーダーより「クラブ活性化の支援を目的に活動する」
- ② 地区DX推進コミティの坂口チーフより「デジタル化推進（HP、LINE、月信）と地区事務所の効率的事務処理手続きの構築」
- ③ 甞れ2570プロジェクトの金井リーダーより「奉仕活動により人脈作り。プロジェクトに参加することで一生の人脈を作っていこう」

との挨拶をいただき、今年度の特色ある地区事業に対する期待の大きさに、会場のヴォルテージは最高潮に達しました。

最後に地区大会並びにチャリティーゴルフ大会の紹介として、深谷RCの田部井地区大会会長の挨拶、小内実行委員長による大会案内、古郡チャリティーゴルフ大会実行委員長よりチャリティーゴルフ大会の紹介がそれぞれ行われ閉会となりました。

本日の会議を終え、いよいよ高丹年度がスタートするという実感とともに、より前により大きな一歩を踏み出す決意を新たにしたい一日でした。



表彰

PHP ポール・ハリス・フェロー **MPHP** マルチプル・ポール・ハリス・フェロー **PHS** ポール・ハリス・ソサエティ
MD メジャードナー **BF** ベネファクター **米山** 米山功労者
米山M 米山功労者マルチプル **米山MD** 米山功労者メジャー・ドナー **数字** 表彰回数

米山M 9



東 美栄

狭山中央

米山 26



細井 保雄

行田さくら

米山 2



半田 太

行田さくら

米山 1



梁瀬 里司

行田さくら

米山 5



清水 和之

志 木


米山 2



宮原 俊介

志 木

米山 4 **MPHP** 1



村山 正昭

朝霞キャロット

MPHP 3



山根 義法

鶴ヶ島

PHP 1



滝澤 義和

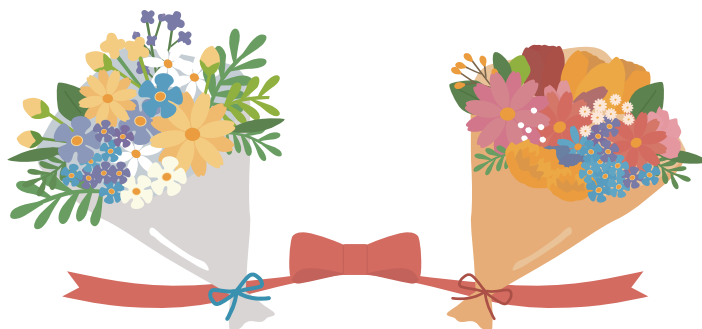
朝 霞

PHP 1



入江 伸彦

朝 霞



新会員紹介

入 入会年月日 勤 勤務先 役 役職 生 生年月日 紹 紹介者



行田さくら

橋本 恭一

Kyouichi Hashimoto

入 2023年5月9日 (再入会)
勤 割烹 魚豊
役 代表
生 1953年7月3日
紹 田島 博夫



所 沢

佐塚 慶輔

Keisuke Satsuka

入 2023年6月6日
勤 株式会社埼玉りそな銀行 所沢支店
役 支店長
生 1971年8月20日
紹 池田安弘/三上 誠



川 越

土屋 雄一郎

Tsuchiya Yuuichiro

入 2023年5月9日
勤 日本生命保険(相) 川越支社
役 支社長
生 1969年4月20日
紹 片山幸雄/今泉 博



川 越

鈴木 崇生

Takao Suzuki

入 2023年5月9日
勤 明治安田生命保険(相) 川越支社
役 支社長
生 1973年8月21日
紹 馬場常正/相原茂吉



川 越

和田 喜勝

Yoshikatsu Wada

入 2023年5月9日
勤 損保ジャパン(株) 埼玉支店
役 支店長
生 1970年12月6日
紹 岩堀和久/上原孝之



東松山

薄井 章一

Shoichi Usui

入 2023年3月30日
勤 水戸証券(株) 東松山支店
役 支店長
生 1968年12月23日
紹 中里協弘



東松山

柳澤 武秀

Takeyoshi Yanagisawa

入 2023年3月9日
勤 (株)松柳園
役 代表取締役
生 1981年2月17日
紹 中澤義明



鶴ヶ島

新井 英俊

Hidetoshi Arai

入 2023年6月24日
勤 新井税理士事務所
役 税理士
生 1964年7月23日
紹 山根義法



熊谷南

高田 昇浩

Norihiro Takada

入 2023年6月1日
勤 (株)ゼクスデザイン
役 代表
生 1972年11月6日
紹 鈴木 聡/植野智恵子

訃 報



行田さくら

長谷川 博

- ご逝去日
2023年5月28日 (享年79才)
- ロータリー歴
1984年10月26日入会 (在籍38年)
- 役職など
2020-21年度 会長



深谷東

保住 實

- ご逝去日
2023年6月8日 (享年76才)
- ロータリー歴
1988年4月8日入会 (在籍35年)
- 役職など

■ 会員数 (2023年6月)

グループ	クラブ名	会 員 数				
		2022年 7月1日	6月 末	対 年 初 増 減	6 月 末 女 性 会 員	My Rotary 登 録 率 %
第1	川越	97	100	3	3	45
	東松山	22	22	0	2	35
	小川	9	7	-2	2	50
	坂戸	29	28	-1	1	20
	越生毛呂	14	13	-1	1	8
	川越小江戸	16	10	-6	0	35
	川越西	24	24	0	5	25
	鶴ヶ島	29	30	1	3	67
	川越中央	26	23	-3	0	17
	坂戸さつき	19	19	0	4	20
	東松山むさし	42	39	-3	4	26
小 計	327	315	-12	25	32	

第2	朝霞	24	23	-1	0	50
	志木	41	48	7	2	40
	富士見	34	33	-1	0	35
	新座	23	22	-1	2	18
	和光	17	12	-5	4	100
	朝霞キャロット	10	10	0	0	30
	新座こぶし	9	8	-1	2	38
小 計	158	156	-2	10	44	

第3	入間	37	39	2	1	38
	所沢	58	58	0	3	22
	飯能	70	65	-5	1	10
	新所沢	16	17	1	2	28
	日高	18	20	2	3	35
	所沢西	34	35	1	4	31
	新狭山	17	18	1	0	67
	所沢東	50	50	0	2	34
	入間南	43	40	-3	0	30
	所沢中央	20	20	0	2	85
狭山中央	20	19	-1	5	30	
小 計	383	381	-2	23	37	

第4	深谷	51	55	4	11	35
	本庄	77	92	15	6	33
	秩父	48	48	0	1	40
	寄居	32	33	1	0	12
	児玉	3	2	-1	0	0
	岡部	16	16	0	2	63
	深谷東	69	63	-6	0	12
	川本	6	6	0	0	0
	皆野・長瀬	9	6	-3	0	33
	2570パスポート	4	2	-2	1	100
深谷ノース	25	25	0	2	48	
小 計	340	348	8	23	31	

第5	熊谷	92	95	3	4	51
	行田	58	55	-3	6	11
	羽生	40	39	-1	3	8
	加須	23	23	0	0	33
	熊谷西	7	8	1	0	0
	行田さくら	55	51	-4	2	76
	熊谷東	21	20	-1	1	25
	吹上	7	6	-1	1	
	熊谷籠原	28	27	-1	0	37
	熊谷南	27	26	-1	3	42
小 計	358	350	-8	20	31	

地区	合 計	1,566	1,550	-16	101	35
----	-----	-------	-------	-----	-----	----

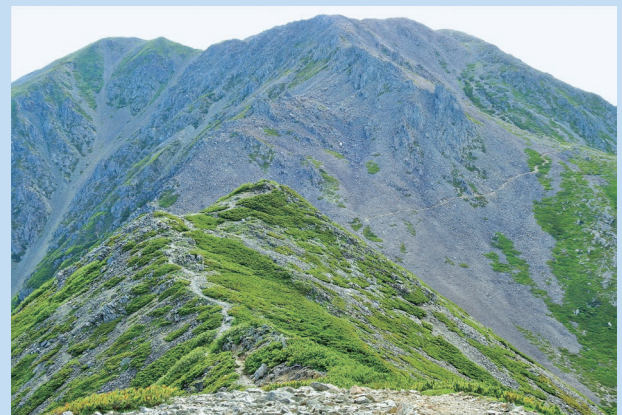
■ ガバナー訪問日程

日 時	担当クラブ
8月	2日(水) 志木
	3日(木) 本庄
	4日(金) 熊谷
	8日(火) 入間南
	23日(水) 鶴ヶ島(昼)・坂戸さつき(夜)
	24日(木) 坂戸
	25日(金) 狭山中央
	30日(水) 飯能・日高
9月	7日(木) 小川(昼)・東松山むさし
	8日(金) 富士見
	11日(月) 朝霞キャロット(夜)
	12日(火) 朝霞(昼)
	13日(水) 新座こぶし
	14日(木) 川越小江戸・川越西
	26日(火) 秩父・皆野長瀬 5AG行田さくら

※ガバナー月信7月号で「入間RC ガバナー訪問日程」で誤りがありました。訂正しお詫び申し上げます。

■ スケジュール

日 時	担当委員会名	内 容	開催場所	
8月	5日(土) ローターリー財団委員会	第1回リエンテーション	ウエスタ川越	
	14日(月)	米山記念奨学委員会	秩父音頭祭り	皆野町役場
	15日(火)			
9月	2日(土) ローターリー財団委員会	ロータリー財団セミナー	国立女性教育会館	
	17日(日) 社会奉仕委員会	第1回社会奉仕セミナー	東松山文化センター	
	24日(日) 国際奉仕委員会	国際奉仕委員会セミナー	紫雲閣(東松山) 2F 鳳凰の間	



表紙：赤石岳 (3,121m)

赤石岳は南アルプスの中でも仙丈岳同様に、大きく雄然とした雷鳥にも会える、私の大好きな山です。高校山岳部の思い出多い山でもあります。
(文責・高丹秀篤)

ガバナー月信 8月号

2023-2024年度 vol.2

2023年7月1日発行

国際ロータリー第2570地区 地区事務所

〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号

ガーデンホテル紫雲閣内

[TEL] 0493-21-2570 [FAX] 0493-21-2571

[mail] d-office@mail.rid2570.gr.jp

[web] https://www.rid2570.gr.jp

[月信原稿送信先] masahiro-31@nifty.com

ガバナー月信編集委員会 委員長 下境 将寛